【お知らせ】 健軍自衛隊通りの桜並木植替基本方針を策定しました！ 平成30年度より段階的な植替えを実施いたします！

協議会の開催については、HPにも掲載しております。→ 東区ホームページTOP ＞ 分類から探す ＞ くらし・環境 ＞ 交通・道路・河川・公園 ＞ 道路

【 1．概　要（方針策定に至った経緯 ） 】

熊本市内でも有数の桜の名所である健軍自衛隊通りは、現在多くの樹木が老木化している状態です。2年前に行った樹木の診断では、その多くが病気等により倒木、幹折れに繋がる危険な状態であると診断されました。

この桜並木を将来的に長く保存していくためには、桜を適正な植栽間隔に植え直すことが重要であり、今年度に協議会を発足させて、現在まで議論を重ねて参りました。

協議会にて、行政（道路・まちづくり・環境部門）、各自治協議会、小中学校、商店街振興組合、健軍自衛隊という立場から様々な意見交換を行ったうえで、植替基本方針を策定いたしましたので、みなさまにお知らせいたします。

【 2．診断結果 】

＜枯損木状況＞

○診断方法
・樹木医により実施しました。目視だけでなく、触診や打診などにより、樹木の異常部位を探して、判断が困難なものについては、精密診断を実施いたしました。

樹木診断

【 診断結果 】

○健全、若しくは危険度が軽度
【健全である・もしくは軽度の異状により、経過観察が必要】
・・・約61％（348本中215本）

○危険度が中程度
【すぐに倒木、幹折れの可能性は低いが、危険性を有している】
・・・約16％（348本中54本）

○危険度が大きい
【倒木、幹折れに繋がる可能性が高い】
・・・約23％（348本中79本）

【 3．植替基本方針 】

・健全木は残しながら、段階的に植替えを行っていく方針としました。（危険度が大きい樹木を優先的に）
・まずは平成30年度から5年かけて、現在危険度が大きいと診断されている樹木の植替えを実施します。
・その後再度樹木診断実施し、樹木の状態確認を行いながら、危険度が大きい樹木から順番に植替えを行います。
・平成35年以降は年に少数ずつの植替えとし、現在の景観を保持しながら植替える予定です。

□樹木の植栽位置及び間隔

①将来的に、概ね10mに1本程度の間隔になるよう植替えを行う。（良好な生育環境の確保）
※現在は5，6m間隔のため、枝どうしが重なり合って桜の花が少なかったり、病気になりやすい状態です。
※樹木の生育面としては、間隔が広ければ広いほど良好な環境ですが、この桜並木は地域のシンボルとして重要な場所であるため、最低限の間隔としました。

②交差点部付近においては植栽を行わない。（交通安全性の向上）

③照明灯設置箇所については、5m内に植栽しない。（防犯効果の確保）

□樹木の種類・・・既存樹木の種類（ソメイヨシノ）に統一。

□具体的な植替え計画

① 5ヵ年で（平成30～34年度）危険樹木の撤去（87本伐採、18本新規植栽）
・平成30年度は市民病院周辺道路拡幅工事にて施工予定。
・平成34年度施工後の植栽本数：279本

② 5年ごとに再診断（次回：平成34年度）
・樹木健全度に変化がないか調査を行います。

③ 危険度が高いものから順次対応
・6年目（平成35年度）以降は、再診断の結果をもとに危険度が高い順番に伐採を行い、10m間隔となるよう新規植栽を行います。
※最終的には全樹木の植替えとなります。完了は数十年先を見込んでおり、非常に長期的な計画となります。

→　植替え完了後の最終植栽本数：185本

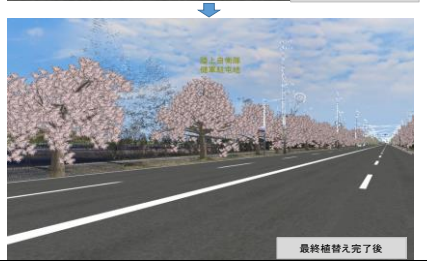
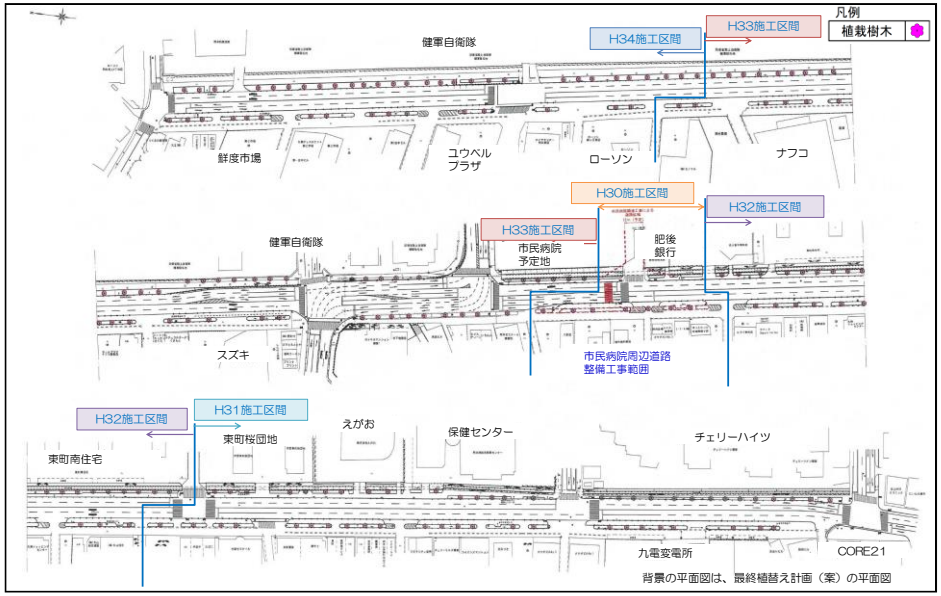
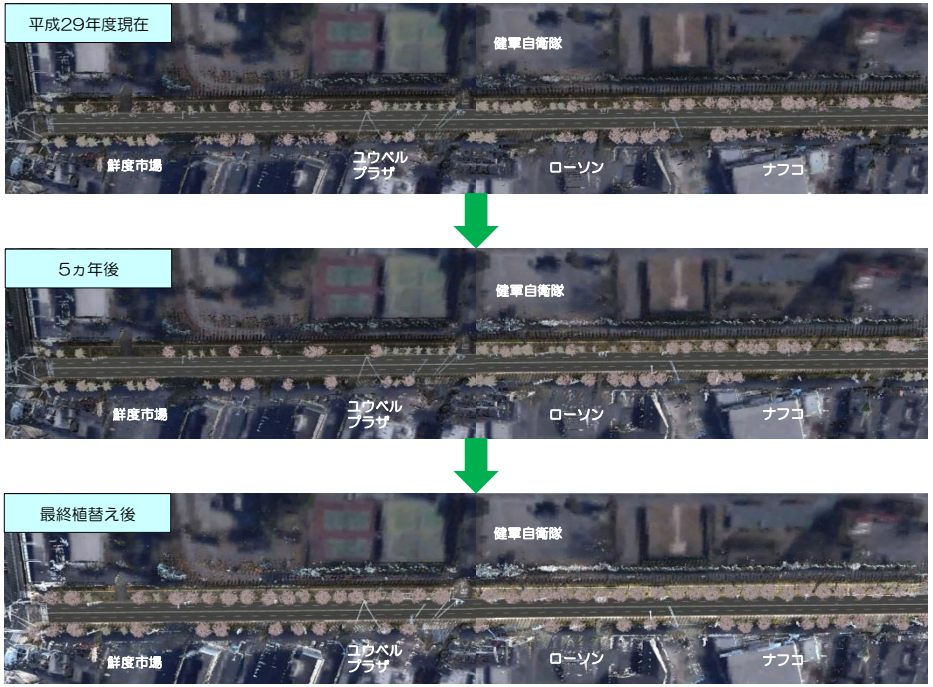
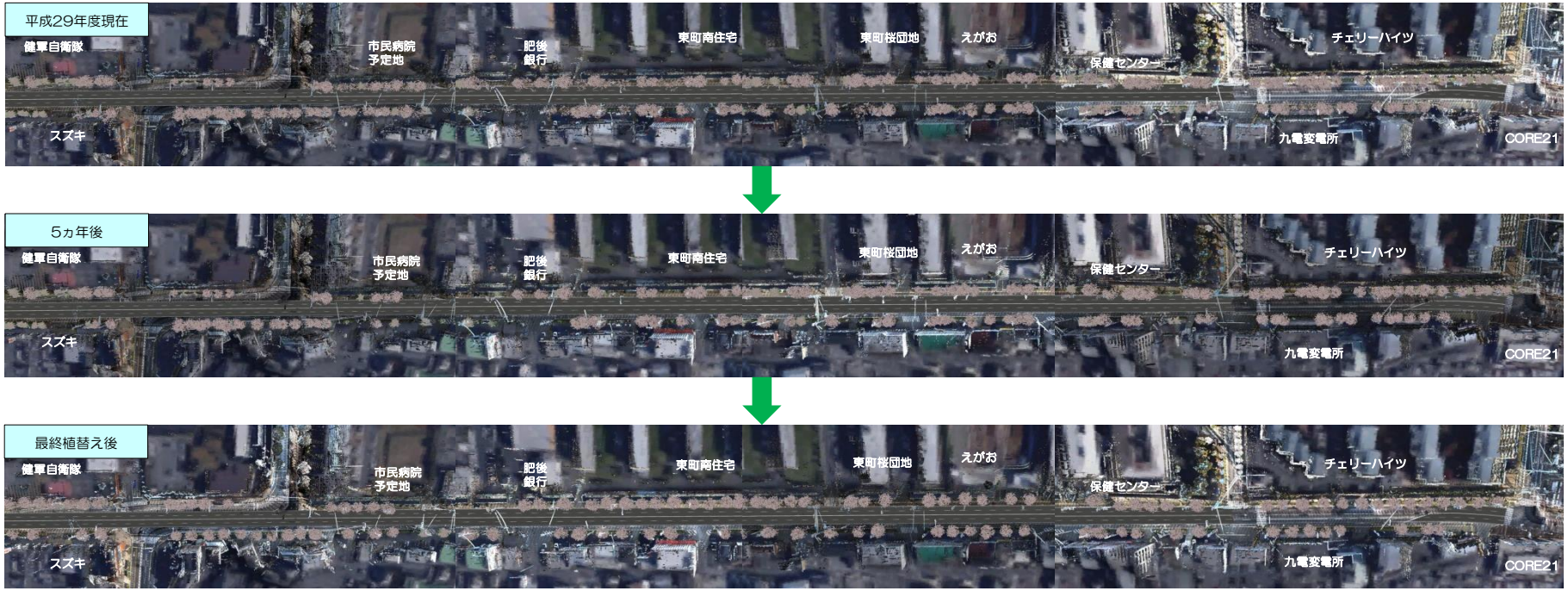
＜表2　平成30～34年度植替計画＞

施工年度	伐　採（本）	新規植栽（本）
H30	15	3
H31	16	4
H32	15	6
H33	20	4
H34	21	1
計	87	18

※平成35年度以降の具体的な計画については、5年ごとの樹木診断の結果により決定していきます。

・植替えするにあたり既存樹木を撤去する際は、その年の桜の花が終わった後に撤去する予定です。
・新規樹木の植栽は、秋～冬にかけ実施いたします。また、植樹の際は自治会や学校へ声掛けを行います。

【 4．植替イメージ（車道からのイメージ図：抜粋） 】



【 5．平成30～34年度実施計画　・　イメージ図（5ヵ年後・最終植替え後） 】